

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会

すい しょう か
**推奨花
花育でガイド**



平成25年 3 月

2015
紀の国 **わかやま** 国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 9月26日 ☀ ▶ 10月6日 🔥

2015
紀の国 **わかやま** 大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

平成27年 10月24日 ☀ ▶ 10月26日 ☀



目 次



●はじめに	1
●推奨花について	1
●作業・管理に関する主な用語	2
●アゲラタム	3
●コリウス	3
●サルビア	4
●ジニア	4
●バーベナ	5
●ペゴニア	5
●ポーチュラカ	6
●マリーゴールド	6
●推奨花の栽培方法 1（タネまきから開花まで）	7
●花のリレー①〔セルトレイ(72穴程度)から開花まで〕	9
●花のリレー②〔セルトレイ(288穴程度)からポットへの植え込み及び開花まで〕	10

はじめに

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会では、「県民総参加の国体・大会」に向け、両大会の県民運動へ多くの県民に参加していただけるよう広く呼びかけています。当実行委員会では、花いっぱい運動を県民運動の柱として盛り上げていくため、おすすめの花として「紀の国わかやま国体・大会推奨花」として8種類の花を決定しています。

推奨花を活用して競技会場、道路、学校、駅などを花いっぱいにし、両大会に訪れるたくさんの人々を温かくお迎えしましょう！

推奨花について

県民のみなさんに花の栽培や装飾に関わっていただく際のおすすめの花として、8種類の花を紹介します。

紹介と併せて、次図のような栽培スケジュールを示しました。タネから育てる場合の一般的なスケジュールと、両大会の開催時期（9月下旬～10月下旬）に開花させたい場合のスケジュールを記載しています。



ただし、天候や管理状態によりスケジュールは前後することがあります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一般的なスケジュール	播種	移植	定植		開花	
両大会の開催時期に合わせたスケジュール		播種	移植	定植		開花



作業・管理に関する主な用語

ふく ど
覆 土

土をかぶせること。

は しゅ
播 種

タネまきのこと。

じか ま
直播き

花を咲かせたい場所に直接タネをまくこと。

い しょく
移 植

苗を植え替えること。

てい しょく
定 植

ポリポットなどで育苗した苗を、花を咲かせたい場所（花壇やプランターなど）に植え付けること。

てき しん
摘 心

生長の盛んな先端の新芽の部分を摘み取り、脇芽の発生を促すこと。ボリュームのある姿に仕立てるために行う。

き もど
切り戻し

草丈を半分程度の長さに切り揃え、樹形を整える作業のこと。
脇から新芽が伸び出し再び開花する。

はな つ
花がら摘み

咲き終わった花の茎の付け根を摘むこと。手で摘みにくい場合はハサミで切り取る。病気や害虫の発生を防ぐ目的で、傷んだ葉や枯葉を取る作業も併せて行うとよい。

せ ひ
施 肥

肥料を施すこと。

つい ひ
追 肥

生育の途中に肥料を施すこと。

ま び
間引き

混み合った状態で発芽した苗のうち、小さいものや弱っているものを抜いて良い苗を残すこと。



1

みんなで育てる花

アゲラタム



分類 キク科



原産地 南米

花言葉 信頼、幸せを得る

特徴：カッコウアザミという和名が示すように、アザミの花を小さくしたような小花が初夏から晩秋まで咲き続けます。草丈の高いタイプ（高性種）と低いタイプ（矮性種）があり、花壇では矮性種を利用します。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
播種	移植	定植	開花			
	播種	移植	定植	開花		

播種 細かいタネなので、平箱か平鉢にていねいに播きます。ごくわずかに覆土し、目の細かいジョウロでかけるか、鉢底から吸水させます。発芽適温は 20 ～ 25℃ です。

移植 本葉が 4 枚程度になったら、ポリポットに移植します。

定植 本葉が 5 ～ 6 枚に増え、株の幅がポットの直径と同じくらい大きくなったら、花壇やプランターに植え付けます。

管理 日当たり及び排水の良いところで管理します。日当たりが悪いと、花芽の付きが悪くなります。窒素肥料も多く与えすぎると花付きが悪くなるので、控えめにします。

草丈が伸びすぎて倒れるようなら、8月中旬に切り戻し、バランスを整え、つぼみの発生を促します。夏の高温で花付きが悪くなるがあるので注意が必要です。

2

みんなで育てる花

コリウス



分類 シソ科



原産地 熱帯、亜熱帯アジア～アフリカ

花言葉 慎み深さ

特徴：葉に赤、桃、黄色、緑色など美しい模様のある観葉植物です。花を楽しむ植物との印象の違いを利用し、プランター植えや花壇のアクセントに活躍します。日照不足では葉がきれいに色づかないので、苗から大きく生長する時期に、しっかり日に当てます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	播種	移植	定植	開花		
		播種	移植	定植	開花	

播種 細かいタネなので、平箱か平鉢にていねいに播きます。覆土はしないか、薄くかぶせます。水やりでタネが流れないようにします。発芽適温は高め(25 ～ 30℃)なので、5月以降に播種するようにします。

移植 本葉が 4 枚になったら、ポリポットに移植します。日当たりと風通しのよい場所で管理します。

定植 本葉が 6 枚になったら、花壇やプランターに植え付けます。

管理 半日陰を好む。真夏の強光に長時間当たると葉が色あせ、美しさが失われます。葉が 10 枚程度に大きく育つ頃には、なるべく午後の直射日光が当たらないようにします。

株が大きく育つにつれ、吸水力が強くなるので、しっかり水やりをします。

サルビア

3
みんなで育てる花



分類 シソ科
原産地 ブラジル
花言葉 燃える思い



特徴：花壇用に品種改良が進められており、様々な花色があります。花自体は数日で落ちてしましますが、花と同じ色のがくが残るため、長期間楽しむことができます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
播種	移植	定植	開花			
	播種	移植	定植	開花		

播種 平箱か平鉢にていねいに播き、ごくわずかに覆土します。発芽適温は 20℃程度です。

移植 本葉が 2～3 枚になったら、ポリポットに移植します。

定植 本葉が 7～8 枚になった頃、花壇やプランターに植え付けます。

管理 土の表面が乾いたらたっぷり水を与えます。苗の頃から肥料が切れないように月に 1～2 回液体肥料などを与えます。特に、真夏の高温期は生育が衰え、花が付きにくくなるので、切り戻しを行った後に液体肥料や固形肥料を与え、草勢を回復させて開花を促します。

ジニア (和名:ヒャクニチソウ)

4
みんなで育てる花



分類 キク科
原産地 メキシコ
花言葉 幸福、遠い友を思う



特徴：暑さに強く、丈夫で育てやすい花です。夏の炎天下でも長期間花を咲かせるところから細葉百日草の和名がついています。また、枯れた花を覆い隠すように新しい花が次々に咲くセルフクリーニングの性質を持ちます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	播種	移植	定植	開花		
	播種	移植	定植	開花		

播種 平箱か平鉢にていねいに播き、タネが隠れるくらいに覆土します。発芽適温は高め(25～30℃)なので、5月以降に播種するようにします。

移植 本葉が 3～4 枚になったら、ポリポットに移植します。

定植 本葉が 4～6 枚になった頃、花壇やプランターに植え付けます。

管理 土の表面が乾いたら、朝と夕方の 2 回、プランターの底から水が出てくるまでたっぷりと水をやります。枯れた葉や咲き終わった花は取り除きましょう。伸びすぎてきた場合には、切り戻しを行いましょう。

5 みんなで育てる花

バーベナ



分類 クマツヅラ科
原産地 北・南アメリカ
花言葉 家族の和合、忍耐



特徴：春から秋にかけてサクラソウのような姿の小花がかたまってボール状に付きます。花壇や鉢植えのほか、ハンギングバスケットなどにも利用されます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
播種	移植	定植	開花			
	播種	移植	定植	開花		

播種 平箱か平鉢にいていねいに播きます。タネの表面には発芽を抑える物質が含まれているので、一晩水につけてから表面をもむように水洗いします。タネが隠れるくらい覆土をかけます。発芽まで約3週間かかるので、それまで乾かさないう管理します。発芽適温は15～20℃です。

移植 本葉が4枚程度になったら、ポリポットに移植します。

定植 株の大きさがポットの直径程度になったら、花壇やプランターに移植します。

管理 日当たりと排水の良いところで管理します。土の表面が乾いたら水をたっぷり与えます。乾燥には比較的強く、じめじめした多湿を嫌います。枯れた花は花茎ごろ切り落とします。そのままにしておくと、タネを作るのに栄養を持っていかれ株が疲労します。

6 みんなで育てる花

ベゴニア



分類 シュウカイドウ科
原産地 ブラジルの原種をヨーロッパで育種
花言葉 親切



特徴：寒さや光、雨、風にも強い丈夫な花で、花が咲く期間も長いです。10℃以上の気温があれば冬でも咲き続けます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	播種	移植	定植	開花		
	播種	移植	定植	開花		

播種 細かいタネなので、平箱か平鉢にいていねいに播き、覆土はしません。水やりでタネが流れないようにします。発芽適温は高め(25℃)なので、5月以降に播種するようにします。

移植 本葉が2～3枚になったら、ポリポットに移植します。日当たりと風通しのよい場所で管理します。

定植 本葉が5～6枚になったら、花壇やプランターに植え付けます。

管理 日当たりの良いところを好みます。葉が分厚く内部に水を貯められるため、水やりを控え乾燥気味に管理します。高温多湿の環境では蒸れやすく腐ることがあるため、風通しの良い場所で育てましょう。咲き終わった花がらは、こまめに取り除くことで、次の花が元気よく咲きます。

ポーチュラカ



みんなで育てる花



分類 スベリヒユ科
原産地 南米
花言葉 無邪気 可憐



特徴：真夏の炎天下でも休むことなく花を咲かせ続ける夏花壇にもってこいの草花です。茎は立ち上がらずに横に這うように広がっていきカーペット状になります。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
さし芽	移植	定植	開花			
		さし芽	移植	定植	開花	

さし芽 葉のついた茎を5～7cmに切り取り、下から1～2cmの葉を欠いて、水はけの良い用土に2～3cm挿します。発根適温は20～25℃です。

移植 発根が確認できたら(約2週間で発根)ポリポットに移植します。

定植 株がポットの直径と同じ位になったら、花壇やプランターに植え付けます。

管理 日光にしっかりあて、土の表面が乾いたら水を与えます。1つの花は1日でしぼんでしまいますので、枯れた花は花首のところから取り除きます。茎がだらしく間延びしてしまったら、葉のある部分で切り戻しを行うとワキから芽が出て生長し再び花がよく咲くようになります。

マリーゴールド



みんなで育てる花



分類 キク科
原産地 メキシコ
花言葉 健康



特徴：夏から秋にかけてオレンジ色や黄色など暖色系の鮮やかな色の花が咲きます。丈夫なので、タネから育てやすく、花壇やプランター栽培に適しています。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
	播種	移植	定植	開花		
		播種	移植	定植	開花	

播種 平箱に1粒ずつ1cmの間隔をあけてまき、種がかくれるくらい覆土します。発芽適温は高め(25℃)なので、5月以降に播種するようにします。十分な温度と水があれば、数日で芽を出します。

移植 育苗中は日によく当て、本葉が2～3枚になったらポリポットに移植します。

定植 本葉が6～7枚になったら、花壇やプランターに植え付けます。

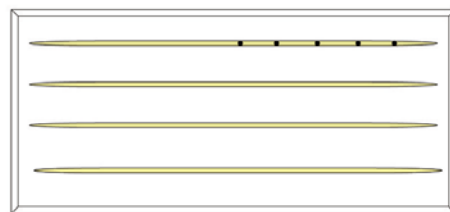
管理 土の表面が乾いたら水をたっぷり与えます。本葉が10枚程度になったら新芽の部分を摘心すると、バランスのよい草姿となります。生育がおう盛なので、切り戻しや古い枝を取り除くなどの作業により、繁茂しすぎないようにします。

推奨花の栽培方法（タネまきから開花まで）

1 タネをまく

①平箱に用土を敷く

平箱（底から水が抜けるもの）に、タネまき専用倍土など粒の細かい土を湿らせた状態で詰め込みます。



平箱へのタネまき

②用土にタネをまく

ベゴニアやサルビアのように、小さくて転がりやすいタネは、二つ折りにしたハガキなどの厚めの紙から転がすように落としていくと素早く確実に播けます。マリーゴールドのような細長いタネは、指でつまんで播きます。タネが土の中で重ならないように注意し、タネ播き後は軽く覆土します。



セルトレイへのタネまき

③発芽するまで明るい半日陰に置く

タネを播き終えたら、タネが流れないように目の細かいジョウロで水やりをします。発芽後は、日当たりの良い場所に移動させますが、用土が過湿にならないよう気をつけながら、水やりをします。本葉が出てきたら、用土の表面が乾くのを待って水やりをします。

2 移植する（苗をポットへ植え込む）

①ポットの準備

あらかじめポット一杯に土を詰めておきます。土が乾いていれば、植え込み（鉢上げ）前日までにたっぷりと水を与えておきます。



ポットの準備

②苗をセルトレイから抜き取る

セルトレイの苗に根鉢が完成したら、トレイから苗を抜いても土が崩れなくなり、移植が可能になります。根鉢（根がトレイと土の境界面に土を抱え込むように網状に巻き始めること）を壊さないように丁寧に抜き取ってください。



セルトレイから抜き取る

③苗をポットに植え込む

苗は根鉢を壊さないようにセルトレイから抜き取り、ポットの土に指で植え穴を開け、差し込むような感じで植え付けます。株元がふらつかないうように軽くおさえて固定した後、たっぷりと水を与えておきます。

④植え込み後の管理

植えた苗とポットの土がなじむように、水をやさしく与えます。植え込み後1週間程度の管理場所は、植え傷みを和らげるため、一日中日差しが当たるような場所を避けてください。株の幅がポットの直径と同じくらいになったら、プランターや花壇への植え付けが可能です。



ポットに植え込む

3 定植する（苗をプランターへ植え込む）

①プランターの土を準備する

プランターの容積の4割程度まで土を入れ、平にならしておきます。土が乾いている場合は、植え付けの前日までにたっぷりと水を与えておきます。

②ポットで育てた苗を抜き取る

ポット苗の根本を指で挟むように押さえ、苗を逆さにしてもう一方の手でポットをつかむようにして苗を抜き取ります。

③プランターに植え付け

抜き取った苗の根を軽くほぐし、土を入れておいたプランターに、3～4株をバランスよく配置します。



ポットから抜き取る

④植え付け

プランターの縁より2～3cm程度低くなるように高さを調節しながら、苗の株元の周りに土を入れます。最後に株元がふらつかないように軽くおさえて固定します。植え付けが終わったら、たっぷり水を与えます。

●花壇への植え付け

①花壇を準備する

腐葉土、堆肥などを適量加え、ふかふかの土にしておきます。

②植え込む

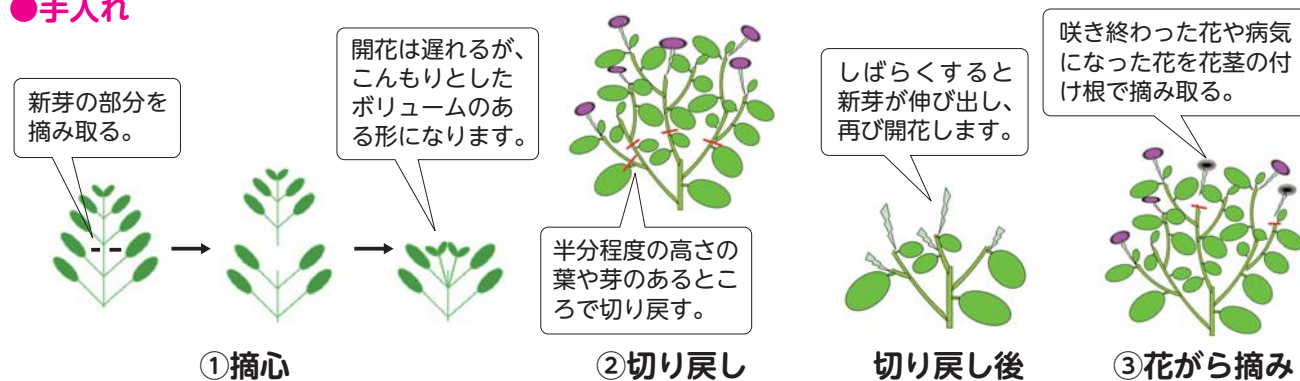
株と株のあいだを20～25cm程度に保ち、ひとつひとつ丁寧に植えます。

4 定植から開花まで

●水やり

土の表面が乾いたら、プランターの底からしみ出すまで水をたっぷりと与えます。植え付け直後の水やりは特に重要なので、2～3週間は乾き具合をよく確認して行います。真夏の水やりは、日中に与えると株が蒸れるので、朝夕の涼しい時間帯に行います。

●手入れ



●^{せひ}施肥

プランターに植えて1週間から10日後に、肥料成分の低い固形肥料(8-8-8)を株の周りにひとつまみ程度ぱらぱらと撒きます。最初の施肥から約1ヶ月後を目安に追肥を与えます。葉が茂り、花の付きが悪くなったら追肥は控えます。

5 酷暑対策

真夏の高温・強日照時期(猛暑時)は、十分な水やりをして注意を払っても良好な生育をしないことがあります。こんな時は、建物の東側など西日が当たらない、出来るだけ涼しい場所で管理してください。

花のリレーに参加しませんか！ 例①



セルトレイ（72穴程度）から開花まで

農業系高校の生徒などがタネから育てたセル苗（72穴セルトレイ程度：4cm程度）を、学校や自治会等で育てます。

6月			7月			8月			9月			10月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
農業高校など			小学校、自治会など											
苗の生産 栽培場所へ移動			定植（プランターに植え込み）			管 理			飾る場所へ移動			競技会場などに設置		

1. 定植する（セル苗をプランターへ植え込む）

① プランターの準備

あらかじめプランターの縁から2～3cm低くなるように土を入れて、平にならしておきます。土が乾いていたなら、たっぷり水を与えておきます。



根鉢が完成

② 苗をセルトレイから抜き取る

セルトレイの苗に根鉢が完成したら、トレイから苗を抜いても土が崩れなくなり、移植が可能になります。根鉢を壊さないように丁寧に抜き取ってください。



セルトレイから抜き取る

③ プランターへ植え込む

苗は根鉢を壊さないようにセルトレイから抜き取り、土に植え込み穴を開け、差し込むような感じでバランスよく配置していきます。株元がふらつかないように軽くおさえて固定した後、たっぷり水を与えておきます。1つのプランターには、4株程度植え付けます。



プランターへ植え込む

④ 植え込み後の管理

植えた苗とプランターの土がなじむように、水をやさしく与えます。植え込み後1週間程度の管理場所は、植え傷みを和らげるため、一日中日差しが当たるような場所を避けてください。

2. 定植から開花まで

推奨花の栽培方法のとおり

3. 酷暑対策

推奨花の栽培方法のとおり

花のリレーに参加しませんか！ 例②



セルトレイ (288穴程度) からポットへの植え込み及び開花まで

農業系高校の生徒などがタネから育てたセル苗(288穴セルトレイ：2cm程度)を、学校などでポットに植え込み大きくしたのち、さらに学校や自治会等にもリレーし育てます。

5月			6月			7月			8月			9月			10月		
上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
農業高校など			中・高等学校、自治会など			小・中・高等学校、自治会、 花育て団体など									競技会場などに 設置		
苗の生産			移植(ポット へ植え込み)			管理 プランター への移植場 所へ移動			管 理			飾る場所へ 移動					
 ポットへの 移植場所へ移動																	

1. 移植する(苗をポットへ植え込む)

①ポットの準備

あらかじめポット一杯に土を詰めておきます。土が乾いていれば、植え込み(鉢上げ)前日までにたっぷりと水を与えておきます。



ポットの準備

②苗をセルトレイから抜き取る

セルトレイの苗に根鉢が完成したら、トレイから苗を抜いても土が崩れなくなり、移植が可能になります。根鉢を壊さないように丁寧に抜き取ってください。



セルトレイから抜き取る

③苗をポットに植え込む

苗は根鉢を壊さないようにセルトレイから抜き取り、ポットの土に指で植え穴を開け、差し込むような感じで植え付けます。株元がふらつかないように軽くおさえて固定した後、たっぷりと水を与えておきます。



ポットへ移し替え

④植え込み後の管理

植えた苗とポットの土がなじむように、水をやさしく与えます。植え込み後1週間程度の管理場所は、植え傷みを和らげるため、一日中日差しが当たるような場所を避けてください。株の幅がポットの直径と同じくらいになったら、プランターや花壇への植え付けが可能です。

2. 定植する(ポット苗をプランターへ植え込む)

①プランターの土を準備する

プランターの容積の4割程度まで土を入れ、平にならしておきます。土が乾いている場合は、植え付けの前日までにたっぷりと水を与えておきます。

②ポットで育てた苗を抜き取る

ポット苗の根本を指で挟むように押さえ、苗を逆さにしてもう一方の手でポットをつかむようにして苗を抜き取ります。



ポットから抜き取る

③プランターに植え付け

抜き取った苗の根を軽くほぐし、土を入れておいたプランターに、3～4株をバランスよく配置します。

④植え付け

プランターの縁より2～3cm程度低くなるように高さを調節しながら、苗の株元の周りに土を入れます。最後に株元がふらつかないように軽くおさえて固定します。植え付けが終わったら、たっぷりと水を与えます。

3. 定植から開花まで

推奨花の栽培方法のとおり

4. 酷暑対策

推奨花の栽培方法のとおり

花いっぱい運動に
みんなで参加だ
ワン!



花のリレーにも
参加してワン!

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1
和歌山県総務企画課 国体・大会県民運動担当
TEL: 073-441-2578 (直通)
073-432-4111 (代表) 〈内線2578〉
FAX: 073-427-5377
E-mail: wakayama2015@onyx.ocn.ne.jp
URL: <http://www.wakayama2015.jp/>



この冊子は地球環境に優しい再生紙、
ベジタブルインキを使用しています。